

資料

浜田港長期構想検討委員会 第1回委員・幹事合同委員会

平成27年10月29日



目次

序章	-----	2
第1章	浜田港の概要-----	6
第2章	背後地域の現況-----	11
第3章	港湾利用の現況-----	19
第4章	上位計画・関連計画の動向-----	26
第5章	港湾利用者のニーズ-----	33
第6章	港湾の課題-----	35

序章

浜田港港湾計画

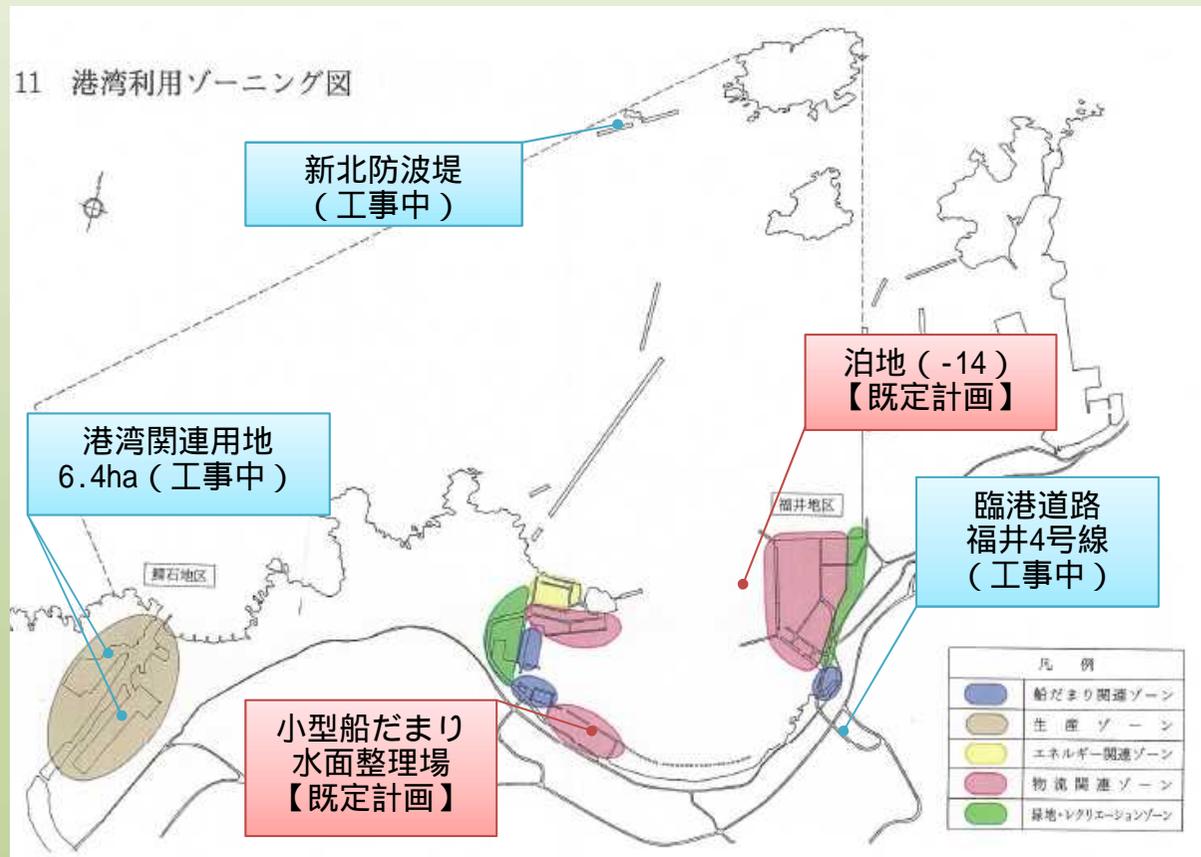
目標年次

平成18年

港湾計画の基本方針

- 1) 外貿物流機能の充実
- 2) 静穏な水域の確保
- 3) 港湾と背後地域との連絡強化、臨港交通体系の充実
- 4) 老朽化・陳腐化した港湾施設の更新、魅力的な港湾空間の創出
- 5) 港湾空間は次のように利用
 - 物流関連ゾーン：
長浜地区東部・福井地区
 - 生産ゾーン：鰐石地区
 - エネルギー関連ゾーン：
長浜地区北部
 - 緑地レクリエーションゾーン：
長浜地区西部・福井地区東部
 - 船だまり関連ゾーン：
長浜地区南部・福井地区南部

改訂：平成 9年 3月 港湾審議会第162回計画部会
 軽変：平成11年 3月 島根県地方港湾審議会
 軽変：平成16年 2月 島根県地方港湾審議会
 軽変：平成20年10月 島根県地方港湾審議会
 一部変更：平成24年 8月 島根県地方港湾審議会
 平成24年11月 交通政策審議会第50回港湾分科会
 軽変：平成25年 3月 島根県地方港湾審議会
 軽変：平成26年 3月 島根県地方港湾審議会



浜田港港湾計画

(改訂:平成9年3月 港湾審議会第162回計画部会)

目標年次
平成18年

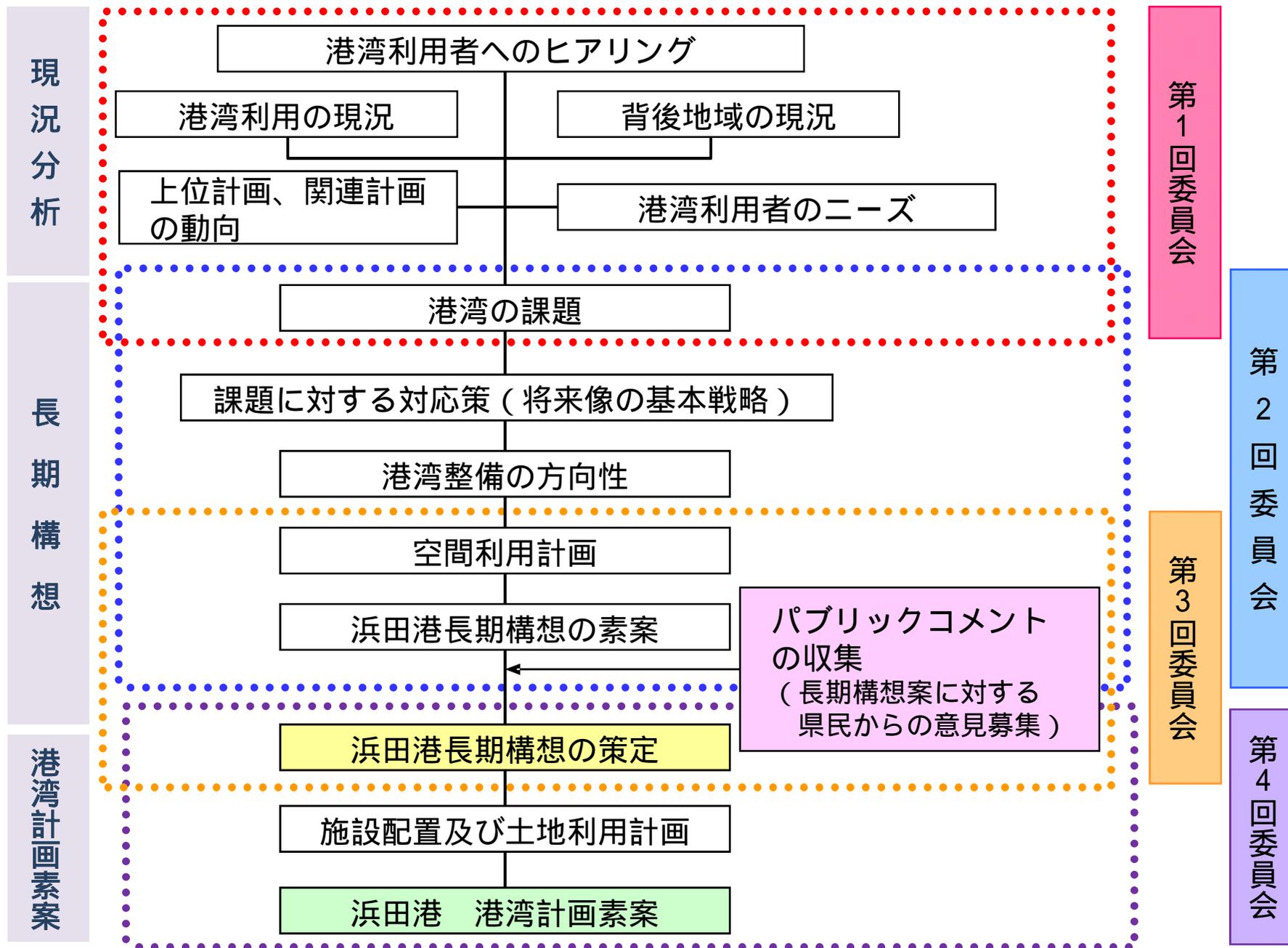
社会経済情勢の変化

「日本海側拠点港」に選定(平成23年11月)

浜田港長期構想

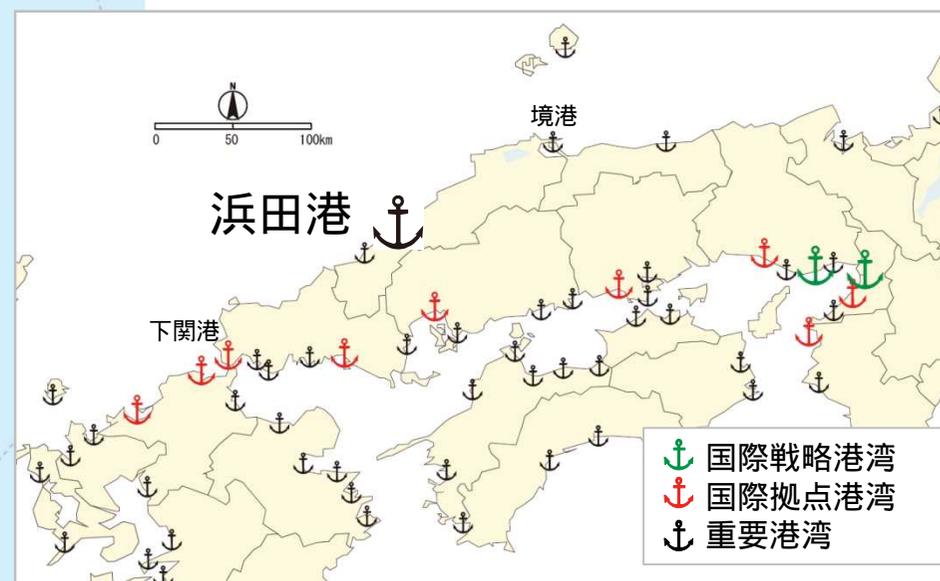
・ 長期的視点(20～30年後)に立った港湾整備の主要施策の検討

浜田港港湾計画素案



第1章 浜田港の概要

- ◆ 浜田港は、下関港と境港の中間にあり、島根県西部の浜田市に位置
- ◆ 自然条件にも恵まれ、島根県唯一の国際貿易港として、古くから木材輸入を中心に発展
- ◆ 平成13年には、韓国釜山港との国際定期コンテナ航路が開設し、また、平成20年にはロシアのウラジオストク港とを結ぶ国際RORO船が就航し、さらなる発展が期待されている
- ◆ 指定及び選定状況
 - ・重点港湾に選定(平成22年)
 - ・日本海側拠点港[原木](平成23年)に選定



浜田港の役割

第1章 浜田港の概要

浜田港は、県管理港湾全体の整備方針において、内外貿易の物流拠点港としての役割を担っている

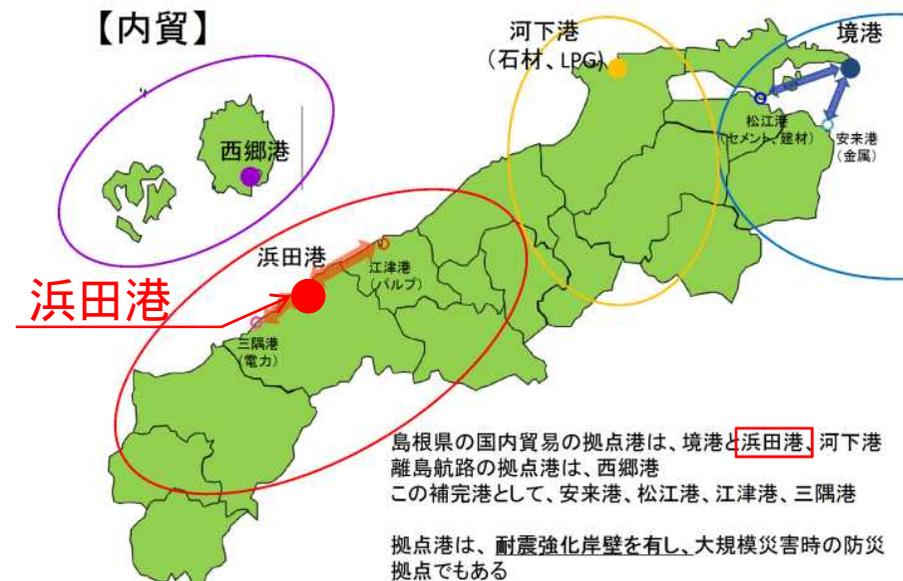
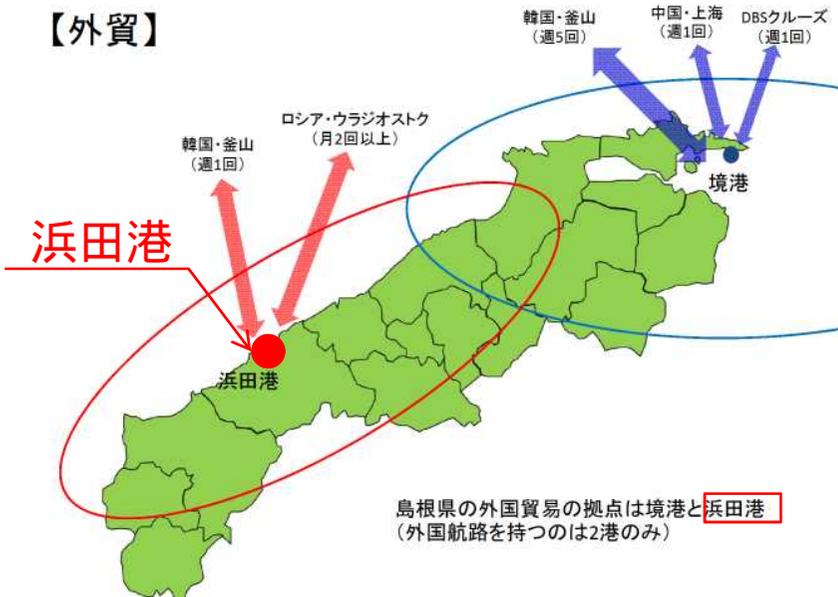
< 物流拠点港 >

- ◆ 国際物流：**浜田港**、(境港)
- ◆ 国内物流：**浜田港**(石見圏域)
河下港(出雲圏域)
境港(宍道湖・中海圏域)
西郷港(隠岐圏域)

県管理港湾全体の整備方針
内外貿易の『物流拠点港とその補完港』整備

整備基本方針	対象港湾名
内外貿易の『物流拠点港とその補完港』整備 【外貿】 浜田港 、(境港) 【内貿】①石見圏域 ②出雲圏域 ③宍道湖・中海圏域 ④隠岐圏域	① 浜田港 + 三隅港、江津港、 ②河下港、 ③(境港) + 安来港、松江港、 ④西郷港
離島住民の生活基盤である『離島航路』整備	西郷港、別府港、来居港、七類港
地域の暮らしを支える『まちの港』整備	田儀港、久手港、宅野港、温泉津港、 益田港、重栖港、御波港、知々井港

※ _____ は、重要港湾



浜田港の沿革

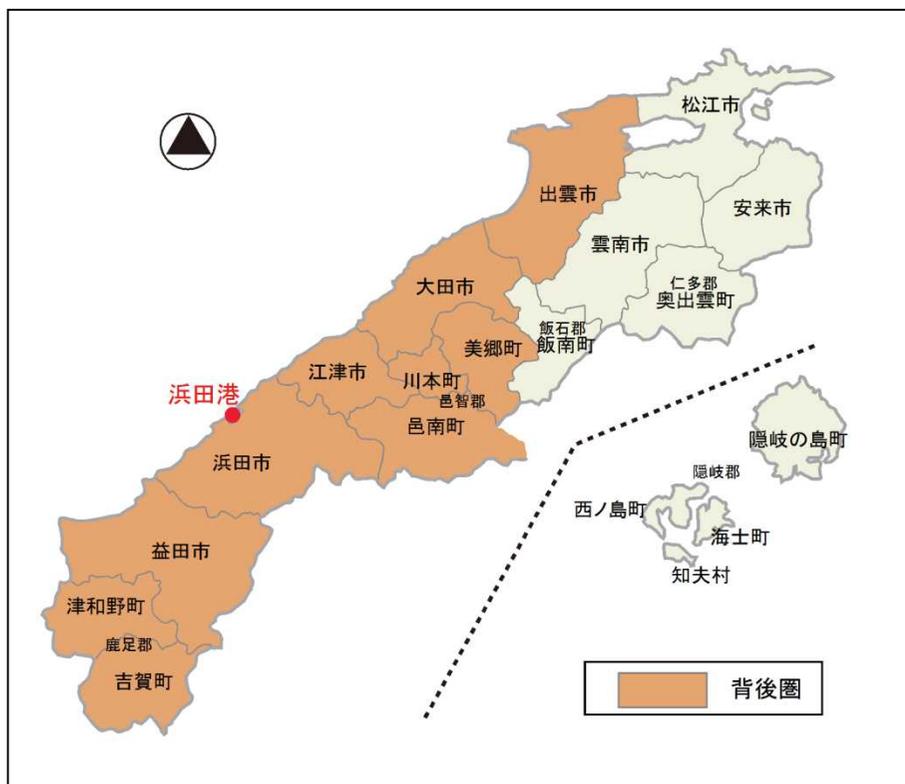
明治29年	開港外貿易港に指定
明治32年	開港港則により開港場に指定
昭和23年	港則法により特定港に指定
昭和32年	重要港湾に指定
昭和37年	木材輸入指定港に指定
昭和47年	北側埠頭完成 長浜1号岸壁(-10m)186m、埠頭用地3.9ha
平成11年	福井3号岸壁(-14m) 280m 福井4号岸壁(-7.5m) (耐震) 130m 完成
平成13年	国際定期コンテナ航路開設 コンテナターミナル完成
平成20年	国際RORO船航路開設
平成22年	重点港湾に選定
平成23年	日本海側拠点港(原木)に選定



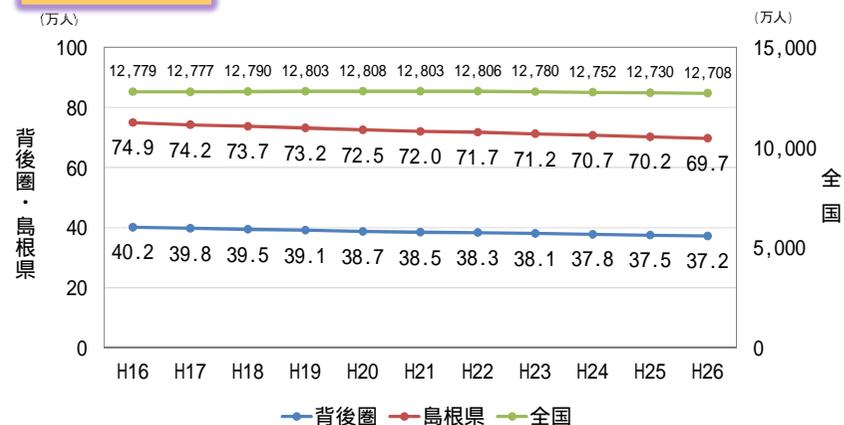
第2章 背後地域の現況

- ◆ 浜田港の背後圏は、次の5市5町
浜田市、出雲市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町
- ◆ 背後圏の人口は約37.2万人(島根県全体の約5割)であり、減少傾向で推移
- ◆ 背後圏の65歳以上の人口は約3割であり、全国と比較して割合が高い

浜田港の背後圏



人口推移



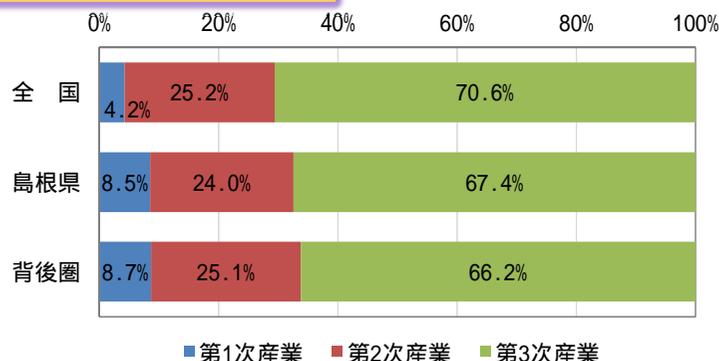
年齢区分別割合 平成26年



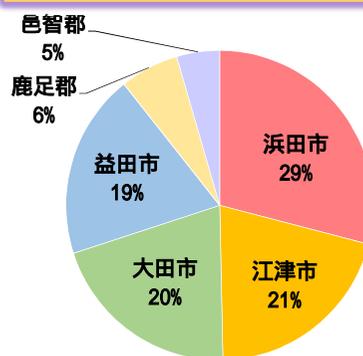
注) 年齢不詳は含まない。 ■ 15歳未満 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上

- ◆ 背後圏の製造品出荷額等は、全国及び県全体と同様にリーマンショック後は減少したが、平成22年に回復し以降はほぼ一定で推移
- ◆ 背後圏には、漁業をはじめとする第一次産業のほか、窯業・土石や木材・木製品に関する製造業が立地し、当該地域の主要産業となっている
- ◆ 浜田港を利用したロシアへの木質建材や石州瓦の輸出など、新たな動きも見られる

就業者の人口構成



背後圏の製造品出荷額等の割合(平成25年)



【背後圏の主な産業】

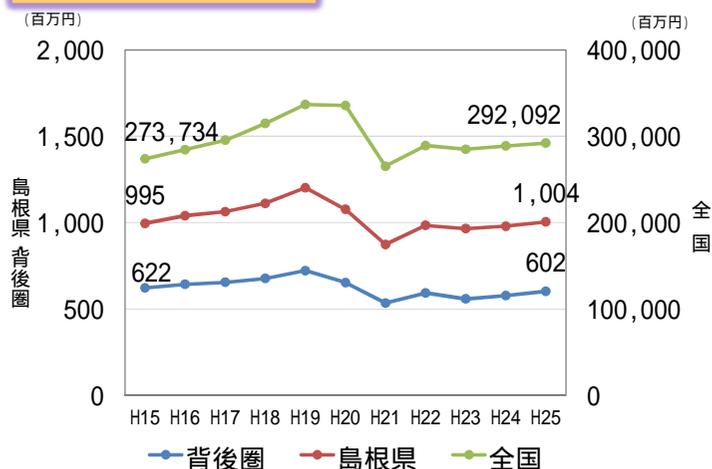
浜田市：食料品製造業、木材・木製品製造業
 江津市：窯業・土石製品製造業
 大田市：電子部品・デバイス・電子回路製造業、
 窯業・土石製品製造業
 益田市：プラスチック製品製造業、繊維工業

秘匿扱いの産業は記載していない

出典：工業統計調査を基に作成

製造品出荷額等

出典：国勢調査(平成22年)を基に作成



【合板材の概要】

- 薄く切った単板を、繊維方向を90°互い違いに重ねて熱圧接着した木質ボード
- 家具や造作材、コンクリートの型枠としての利用のほか、構造用合板として住宅の壁や床に利用されている



【石州瓦の特徴】

- 島根県、石見地方で生産される赤褐色の瓦
- 瓦の全国シェア第2位で、日本三大瓦のひとつ
- 寒さに強く、表面のガラス質により、防水性が高く塩害にも強い



- ◆ 一般道路は、東西に国道9号、南北に国道186号、261号等がある
- ◆ 高速道路は、中国自動車道と浜田市を結ぶ浜田自動車道が整備
- ◆ 山陰自動車道は現在整備が進められており、浜田三隅道路の浜田港IC～西村ICがH27.3に開通、西村IC～石見三隅ICがH28年度開通予定
- ◆ 山陰自動車道と浜田港を直結する臨港道路福井4号線を整備中 (H29年度開通予定)

島根県の
道路交通網



浜田港背後の交通網



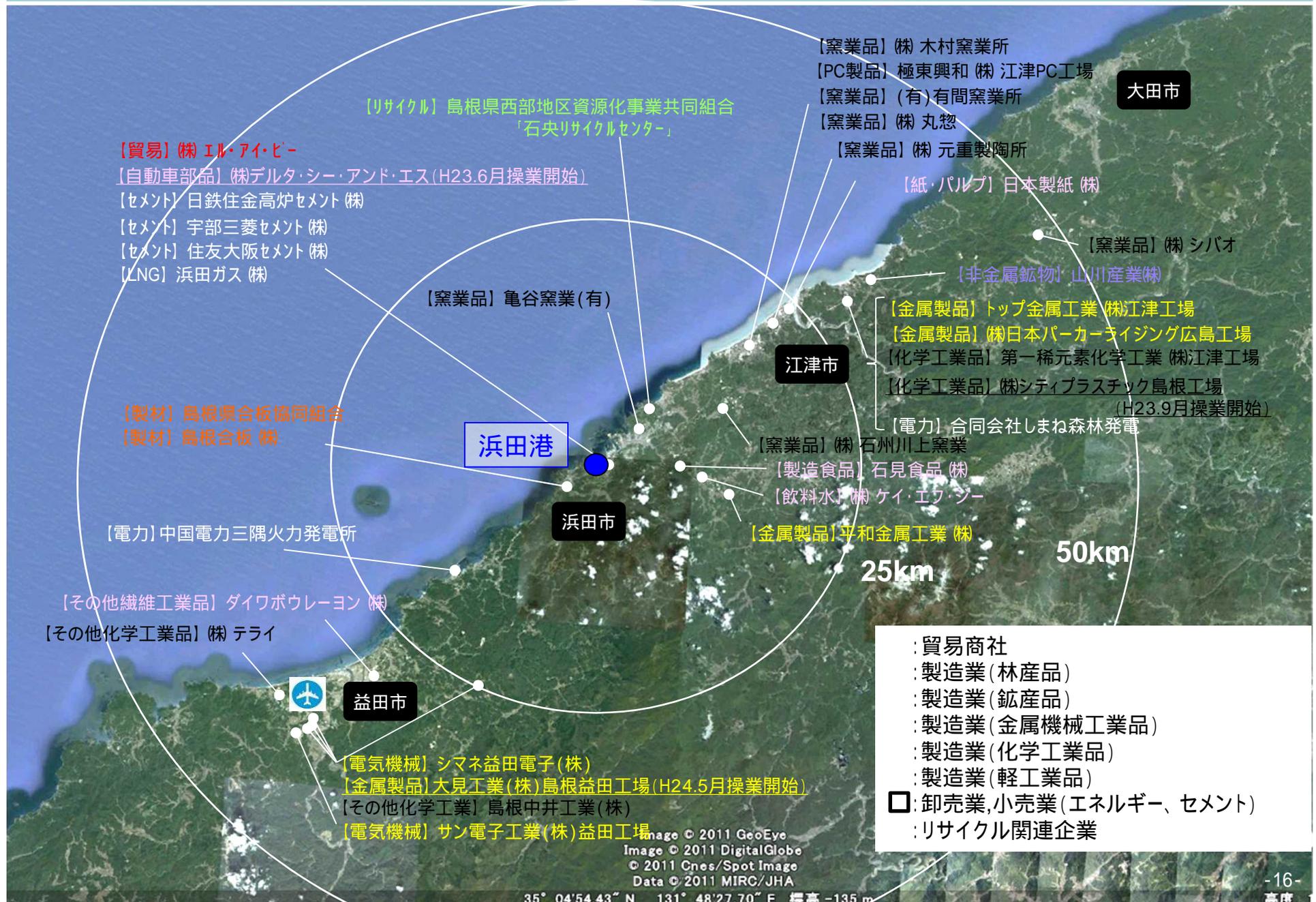
島根県の高速道路網



出典：島根県高速道路推進課資料(平成27年9月15日現在)

浜田港周辺の企業立地状況

第2章 背後地域の現況



- ◆ 島根県の企業立地認定件数は、2015年上半期ベースで18件となり、過去最多
- ◆ 特に円安を背景に受注が好調な製造業の設備投資が活発化
- ◆ 浜田港周辺においても企業進出や設備投資などの活発な動きがある
 - ・ 大手自動車メーカーに部品を供給するデルタ・シー・アンド・エス(浜田市)が工場を増設
 - ・ 船舶用部品を生産する大田鋳造所(広島市)が島根県邑南町に新工場を稼働

H27.10.15山陰中央新報 関連記事あり

日本製紙(株)ケミカル事業本部 江津事業所(江津市)

主要取扱品目

木材チップ、石炭、リグニン

企業動向

- ・2017年度までの中期経営計画において、江津事業所が拠点となる溶解パルプ事業に55億円を投資し、高付加価値の製品の生産を増やす方針

H27.2.20山陰中央新報 関連記事あり

島根合板(株)(浜田市)

主要取扱品目

原木、構造用合板

企業動向

- ・設備投資
(H24～ストックヤードの整備、ボイラーの更新)



中国電力(株)三隅発電所 (浜田市)

主要取扱品目

石炭(三隅港を利用)、石炭灰

企業動向

- ・浜田市三隅町に火力発電所2号機(出力100万kW)を建設予定(平成30年着工、H34稼働予定)
- ・当初H39年度以降運転開始としていた計画をH34年に前倒し

H27.2.28日本経済新聞 関連記事あり

合同会社しまね森林発電 江津バイオマス発電所(江津市)

主要取扱品目

PKS(バイオマス発電用燃料、ヤシガラ)

企業動向

- ・江津工業団地(江津市)でH27.7よりバイオマス発電所(12,700kw)を稼働開始
- ・浜田港ではH27.2よりPKSの取扱を開始
- ・11.5万t/年の木質燃料を使用する計画で、うち8.3万tは県産の未利用材、残り3.2万をインドネシアとマレーシアから輸入

H27.6.16山陰経済ウィークリー 関連記事あり
H27.5.27山陰中央新報

(株)大田鋳造所 (島根県邑南町)

企業動向

- ・コークス炉の部品では国内トップシェア
- ・H27.9より新工場(島根県邑南町)を稼働
- ・浜田港の利便性を考慮(タイから部品を輸入する際に使い勝手が良い)

H27.9.8日本経済新聞 関連記事あり

浜田港 海上輸送需要調査の開始

- ・島根県は、浜田港と国内他港を結ぶ貨物船の就航を目指し、需要調査を開始
- ・浜田港を利用して、原材料を輸入する企業を主な対象に製造品の出荷ルートなどを調べ、海上輸送への切り替えの可能性を探る
- ・トラックの運転不足等を背景に、海路のニーズが高まっており、港の利用拡大につなげる考え

H27.9.2山陰中央新報 関連記事あり

メタンハイドレート埋蔵量調査

- ・経済産業省資源エネルギー庁が、次世代資源メタンハイドレート の埋蔵が有力視される島根県隠岐周辺の海底調査に乗り出す方向で検討
- ・2015年度予算案に、隠岐周辺を含む日本海側の調査費として約30億円を計上
- ・2014年度補正予算案の約20億円と合わせ、2015年度の事業費は約50億円となり、単年度としては過去最高

メタンハイドレート

天然ガスの主成分メタンと水が結合した物質で「燃える氷」と呼ばれる。
日本近海に国内の天然ガス使用量の約100年分が存在するとされる

H27.1.15中国新聞 関連記事あり

石油・天然ガス埋蔵量調査

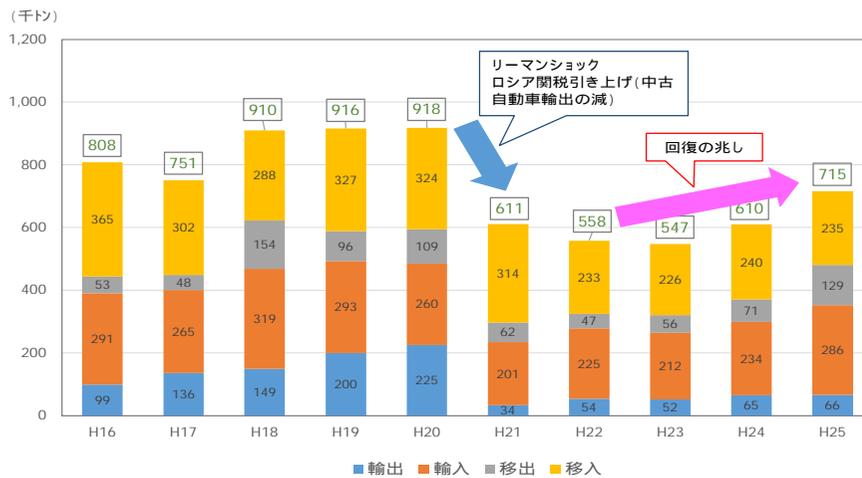
- ・経済産業省資源エネルギー庁は、浜田市の北西約130kmの日本海で、石油や天然ガスの埋蔵量を把握する調査をすと発表
- ・H27年8月に海底の地形を調べた後、H28年5月～8月に試掘する予定
- ・浜田沖については、経済産業省の探査船がH23年度に実施した調査で、約60万km²にわたり有望な地層があると判断している

H27.7.31山陰中央新報 関連記事あり

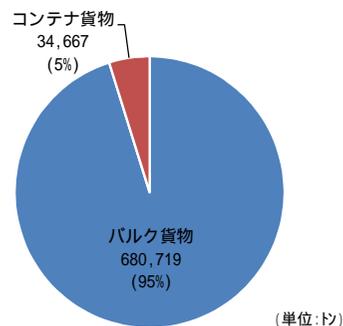
第3章 港湾利用の現況

- ◆ 平成21年はリーマンショックの影響や、ロシアによる自動車関税の引き上げ等により落ち込みがあったものの、回復傾向
- ◆ 外貿と内貿の割合はほぼ半々であるが、輸入・移入の割合が高い
- ◆ 荷姿別の割合はバルク貨物が全体の95%を占める
- ◆ 主要品目は、輸出：完成（中古）自動車、輸入：原木、石炭、移出：石材、移入：セメントであり、特定の品目に特化している

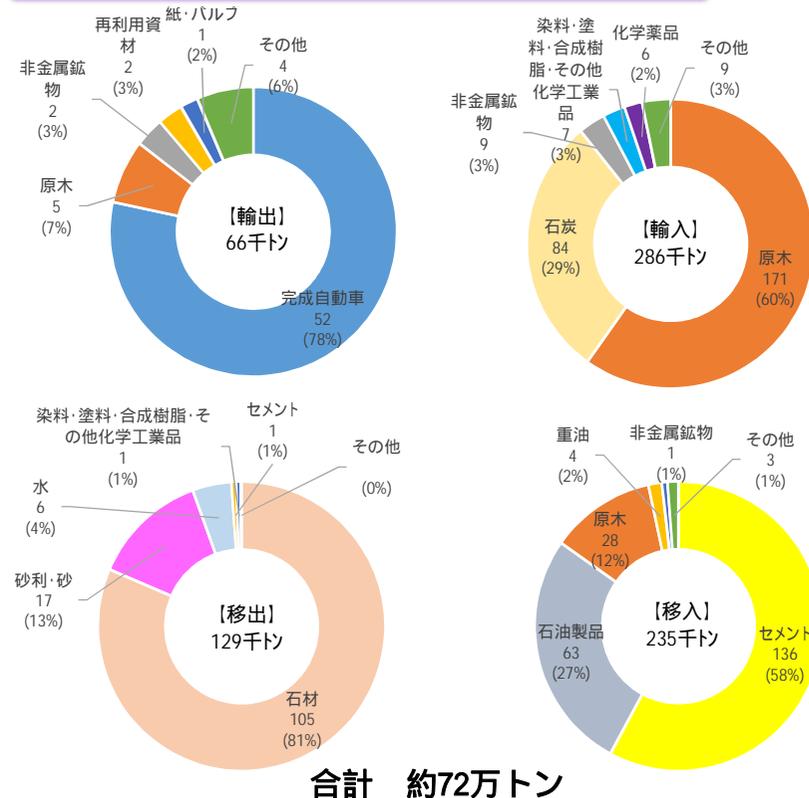
取扱貨物量の推移



取扱貨物量の荷姿別シェア 平成25年



取扱貨物量の品目別シェア 平成25年

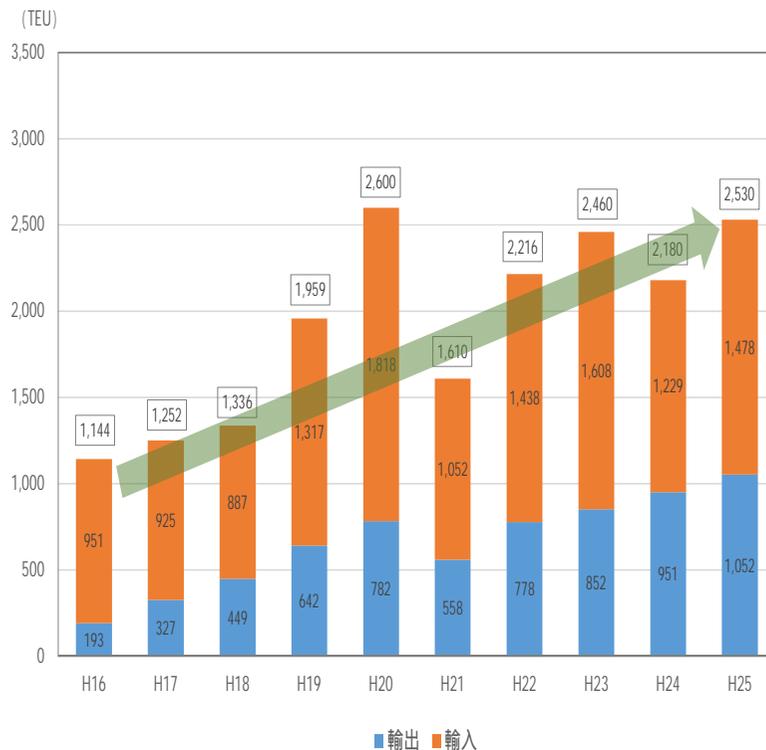


出典：島根県港湾空港課資料を基に作成

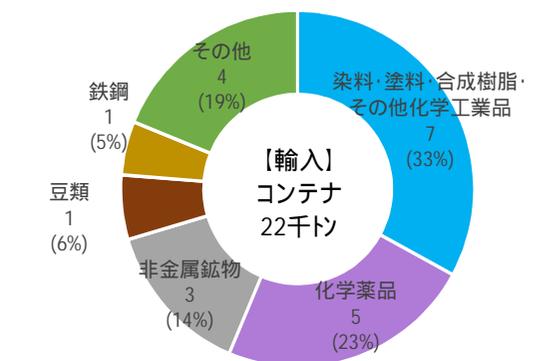
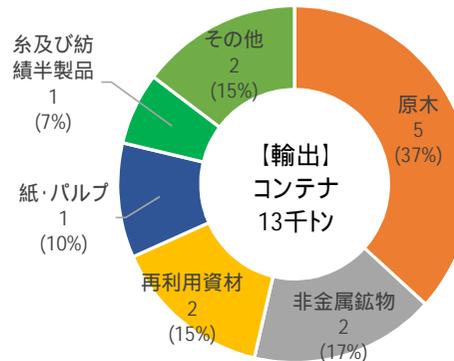
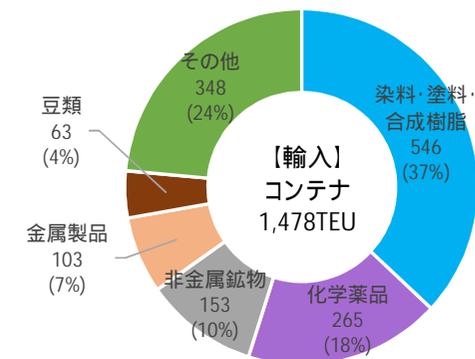
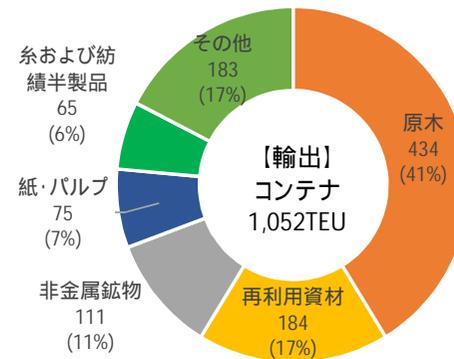
コンテナ取扱貨物量の現況

- ◆ 平成21年はリーマンショックの影響や、ロシアによる自動車関税の引き上げ等により落ち込みがあったものの、回復傾向
- ◆ 平成25年のコンテナ取扱個数は2,530TEU(平成16年の2.2倍)
- ◆ 主要品目は、輸出:原木、再利用資材等、輸入:染料・塗料・合成樹脂・化学工業品、化学薬品、非金属鉱物等が中心

コンテナ取扱個数の推移



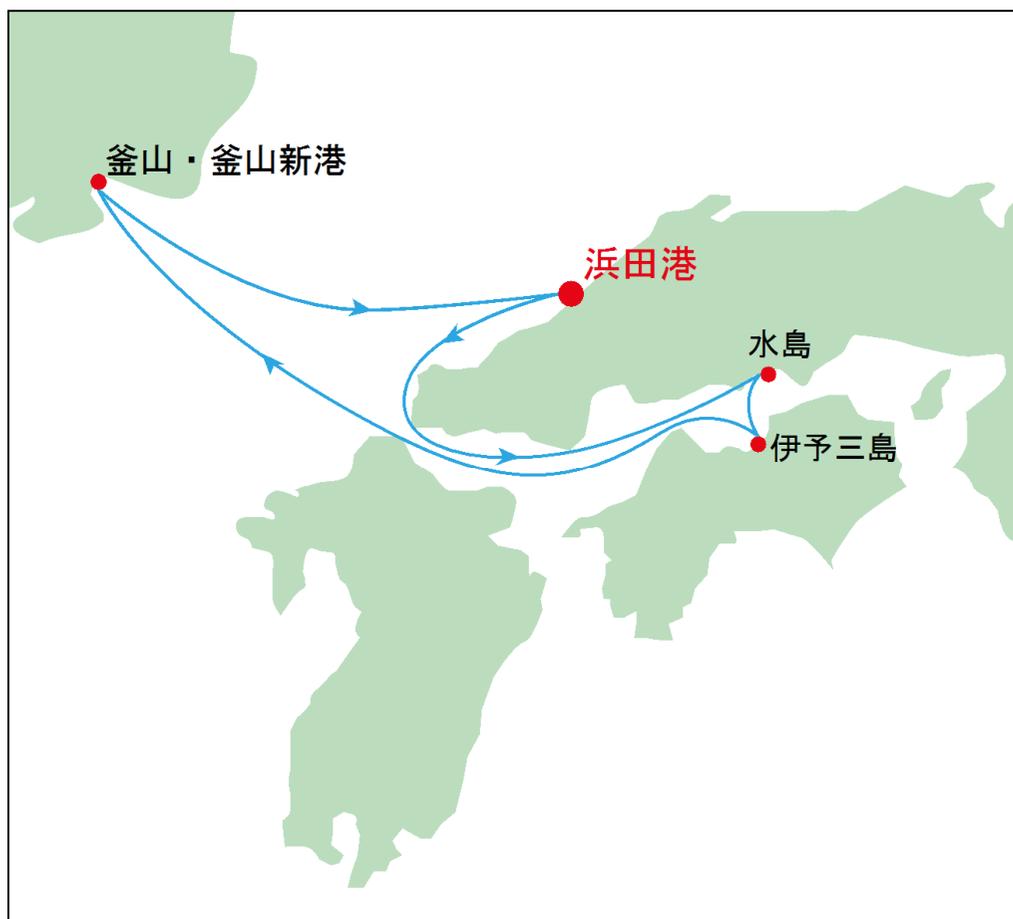
コンテナ取扱貨物量の品目別シェア 平成25年



出典：島根県港湾空港課資料を基に作成

◆ 平成13年3月に韓国(釜山港)との定期コンテナ航路が開設(週1便)

外貿定期コンテナ航路網図

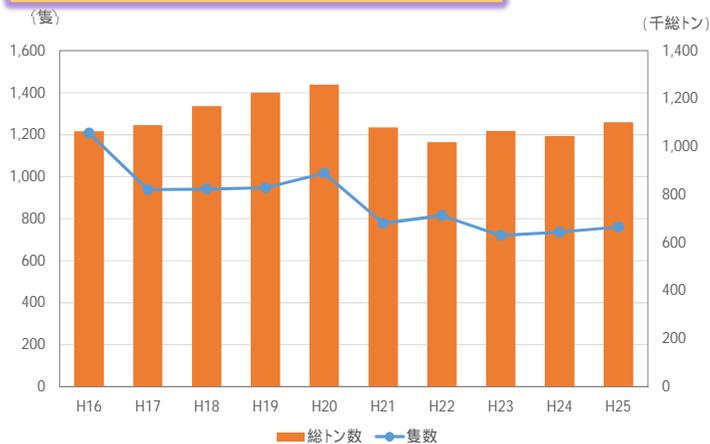


韓国航路(コンテナ航路)の概要

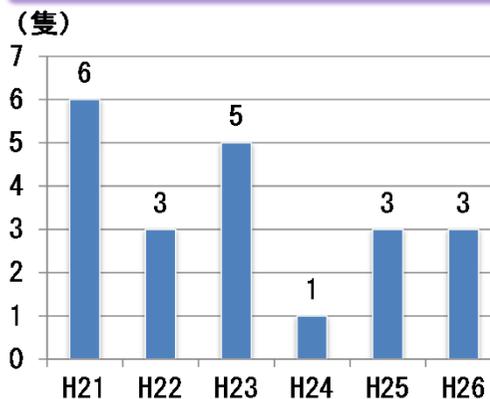
船会社	南星海運株式会社
船名	「MERRY STAR」 総トン数 3,997t 積載能力 342TEU 「GLORY STAR」 総トン数 4,124t 積載能力 342TEU
寄港曜日	毎週土曜日
寄港地(到着曜日)	釜山港(木)～釜山新港(金) ～浜田港(土)～水島港(月) ～伊予三島港(月)～釜山港(火)

- ◆ 1隻あたりの総トン数は外航商船が大型化傾向、それ以外は横ばいで推移
- ◆ イベント船・クルーズ船は、年間1～6隻程度寄港

入港隻数・総トン数の推移



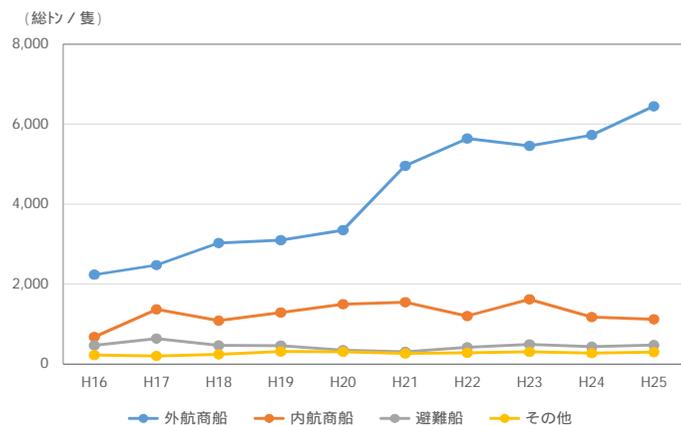
イベント船・クルーズ船の入港実績



ぱしふいっくびいなす (H27.5 入港)

出典：浜田商工会議所青年部FB

1隻あたり総トン数の推移



出典：港湾統計年報（国土交通省）を基に作成

寄港船舶

寄港年月	船名
H22	飛鳥
H23.6	ふじ丸
H23.10	飛鳥
H23.10	ぱしふいっくびいなす (2回)
H25.5	ふじ丸
H25.7	にっぽん丸
H26.9	にっぽん丸
H26.9	飛鳥
H27.5	ぱしふいっくびいなす

イベント船入港時の来場人数

寄港年月	船名	来場(人)
H22.6	潜水艦救難艦「ちはや」	1,638
H22.7	護衛艦「まつゆき」	1,117
H23.6	護衛艦「あたご」	4,467
H24.7	護衛艦「すずなみ」	1,729
H25.9	砕氷艦「しらせ」	7,800
H26.6	護衛艦「まつゆき」	3,150

概要

現在、原木(外貿)の取り扱いには福井地区福井ふ頭3号岸壁(14.0m(暫定12.0m))で取り扱っているが、南洋材から北米材への変更による水上保管から陸上保管へシフトしたことにより、背後埠頭用地が不足している。埠頭用地不足に対応するため鱒石地区で水中貯木場を埋立て、6.4haの土地造成中(H30年完成予定)。

H27.2より新たな貨物としてバイオマス発電原料であるPKSの取扱を開始。

長浜地区の危険物ふ頭を使用していた企業が撤退、遊休化している。

木材チップの取扱いは企業からは最低2haの用地が必要と要望されているが、背後の埠頭用地の不足により取扱が出来ていない状況。現在、岩国港より陸送及び小型船による海上輸送にて近隣の江津市に立地する製紙会社へ非効率な輸送を行っている。(企業から浜田港の利用に向けた要望有り)

韓国航路(1便/週)にて就航している外貿コンテナ船は、現在、福井ふ頭4号岸壁(7.5m)で取り扱っているが、今後1年以内に大型化(300TEU→700TEU(バース水深8.5m))するとの船社より通告。船舶の老朽化のため今後さらに大型化(1000TEUバース水深-9.5m以上)の可能性大。

コンテナ貨物の取扱について福井上屋の効果もあり、取扱量はH26で過去最高を記録。しかし、近隣で発生する貨物の多くが神戸港や門司港など他港へ流動している。

- * 流動要因としては航路が少ない、保管施設が不足している、利用料が高いなどが挙げられている



平成25年4月より福井上屋供用開始
H26のコンテナ取扱量過去最高
3,531TEU



第4章 上位計画・関連計画の動向



国土形成計画（全国計画） / H27.8 / 閣議決定

国土の基本コンセプト：「対流促進型国土」の形成

- ・「コンパクト+ネットワーク」
人口減少に立ち向かう地域構造・国土構造
- ・「個性」と「連携」による「対流」の促進
地域の個性を磨き、地域間・国際間の連携によって活発な「対流」を起こす
- ・「ローカルに輝き、グローバルに羽ばたく国土」
「住み続けられる国土」と「稼げる国土」の両立

これにより、各地域の独自の個性を活かした、これからの時代にふさわしい国土の均衡ある発展を実現

【国土の基本構想実現のための具体的方向性 浜田港関連】

- ・ **新たな木材需要の創出**：丸太のみならず付加価値の高い製材品等木材製品の輸出を促進
- ・ **東アジアとの対流の促進**：国際フェリー、RORO船等による高速海上輸送、航空貨物輸送等を駆使した複合一貫輸送サービスの利点を享受できるよう、物流需要を的確に見定めつつ、港湾及び空港の有効活用並びに道路、鉄道等のアクセス網の充実を通じたゲートウェイの形成を図る
- ・ **地域間の対流を促進する国土幹線交通体系の構築**：環境負荷低減及び物流のより一層の効率化を図るため、鉄道、内航海運等の大量輸送モードへの転換を図るモーダルシフトを促進する

港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針 / H26.12 / 国土交通省

～ 今後の港湾の進むべき方向～

産業の国際競争力と国民生活を支える物流体系の構築
国民の安全・安心の確保への貢献
良好な港湾環境の形成
活力のある美しい港湾空間の創造と適正な管理
新たな海洋立国の実現に向けた海洋政策の推進
ストック型社会に対応した効率的・効果的な事業の実施

～ 港湾相互間の連携の確保（中国地域）～

- ・ 中国地域では、日本海側の重要港湾と瀬戸内海側の国際拠点港湾及び重要港湾が連携して海上輸送網の拠点としての機能を担う。
- ・ 日本海沿岸の各港湾は、東アジア地域に近い地理的特性を活かした国際輸送や日本海における国内輸送の拠点としての役割を担う



島根県総合発展計画 / H20.3 / 島根県 第2次実施計画 (H24.3)

将来像『豊かな自然、文化、歴史の中で、県民誰もが誇りと自信を持てる、
活力ある島根』

【浜田港に係る政策・施策】

基本目標	政策	取組の方向	施策	
あるしまね 活力	産業振興	ものづくり・IT産業の振興	県内産業の高度化や活性化などに波及効果の高い企業の誘致や、県内工場の生産拠点の推進	新産業・新事業の創出 企業誘致の推進
		観光の振興	島根県独自の魅力ある資源を活かし、地域や民間事業者が主体となっていくような様々な支援を行うとともに、県民との協働により、訪れる人々を温かくおもてなしする取組を推進	地域資源を活用した観光地づくりの推進
	産業基盤の維持・整備	日本海側拠点港に選定された浜田港については、海外貿易航路の拡充等のため、高速道路ネットワークと直結する臨港道路等の整備や、ポートセールス等を強化	空港・港湾の維持・整備	

市

浜田市総合振興計画（後期基本計画） / H23.3 / 浜田市

将来像『青い海・緑の大地 人が輝き文化のかおるまち』

【浜田港に係る政策・施策】

まちづくり の大綱	施策大綱	主要施策の展開
産業を創造するまち 地域資源を活かした	地域の特性を活かした農林水産業の振興	農林水産物の輸出促進 ・今後、需要の拡大が見込まれる北東アジア地域を対象とした新たな販路の拡大を図る ・民間主導型による貿易を進める
	浜田港・三隅港を活かした産業の振興	総合物流拠点の整備と利用促進 利用しやすい港づくりや港湾サービス体制の充実 臨港地区の産業振興 コンテナ数目標値(平成27年度):2,500TEU
	地域資源を活かした観光の振興	石見神楽の里づくり ・夜神楽上演、神楽鑑賞ツアーの商品化、神楽関連商品の開発、神楽に不可欠な石州和紙産業の保存・育成等に取り組み、島根県における石見神楽の観光拠点地域として、石見神楽の里づくりを進める 北東アジア地域等からの外国人観光客の誘致 ・外国人観光客が快適に滞在し、周遊できる観光地としての魅力づくりを行うとともに、各種メディアを活用した外国人向けのPR活動に取り組み、中国、韓国、台湾、ロシア等、北東アジア地域をはじめとした外国人観光客を誘致する
	企業誘致や新産業による雇用の促進	地域の特性を活かした企業誘致 ・本市の広大な土地や物流の要となる高速道路や浜田港等を活かし、島根県と連携して全国の企業に対する土地情報や工業団地情報の提供を行うとともに、土地基盤整備の実施や企業ニーズを踏まえた柔軟で、かつ、多様な支援を行い、更なる企業誘致活動を推進する

日本海側拠点港(原木)に選定(H23.11)

- ◆ 経済成長著しい対岸諸国と地理的に近接する日本海側港湾において、既存ストックを活用しつつ、伸ばすべき機能の選択と施策の集中及び港湾間の連携を通じて、**対岸諸国の経済発展を我が国の成長に取り入れる**とともに、**東日本大震災を踏まえた災害に強い物流ネットワークの構築にも資する**ことを目的とする。
- ◆ 現在、港湾管理者が荷主等港湾関係者と策定した日本海側拠点港の形成に向けた計画書に基づき、官民が連携した様々な取組が行われている。

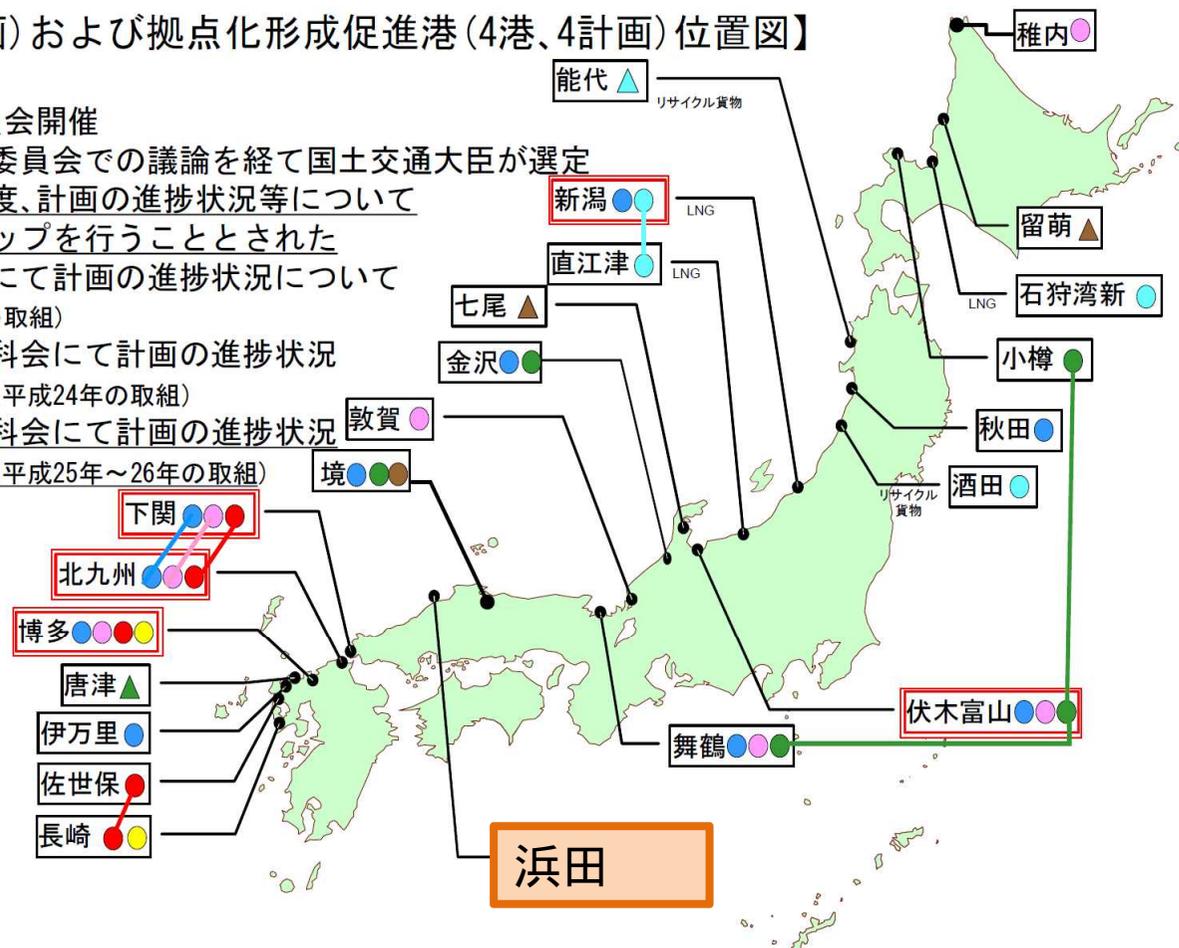
【日本海側拠点港(19港、28計画) および拠点化形成促進港(4港、4計画)位置図】

○主なスケジュール

- ・平成22年11月24日 第1回検討委員会開催
- ・平成23年11月11日 10回にわたる委員会での議論を経て国土交通大臣が選定
※1年に1回程度、計画の進捗状況等について
フォローアップを行うこととされた
- ・平成24年 9月12日 第11回委員会にて計画の進捗状況について報告(平成23年の取組)
- ・平成26年 8月 6日 第57回港湾分科会にて計画の進捗状況について報告(平成24年の取組)
- ・平成27年 3月10日 第59回港湾分科会にて計画の進捗状況について報告(平成25年～26年の取組)

日本海側拠点港〈19港、28計画〉

- 総合的拠点港
(日本海側拠点港のうち5港)
- 国際コンテナ
- 国際フェリー・RORO
- 国際定期旅客
- クルーズ(定点)
- クルーズ(背後観光地)
- 原木
- その他
- △ 拠点化形成促進港(4港、4計画)



計画の目的とそのための方策

目的1

原料調達大量化への適応

方策1

2015年

原木置き場の造成



大型船による共同調達



2025年

埠頭の増深・拡大



浜田港ロシア貿易発展プロジェクト(H19.2～)

- ◆ 浜田港では平成19年2月にロシア貿易促進プロジェクトを立ち上げた。
- ◆ それ以降、官民一体となって浜田港におけるロシア貿易の発展に向けた取組を進めている。

内 容

《プロジェクトの変遷》

- H19.2 ロシア貿易促進プロジェクト
- H21.7 浜田港ロシア貿易促進プロジェクト
- H24.5 浜田港ロシア貿易拡大プロジェクト
- H27.5 **浜田港ロシア貿易発展プロジェクト**

《プロジェクトの主な取り組み》

国際RORO船航路運航安定化等対策事業
→ロシア貨物に関する助成

ロシアビジネス支援体制の強化
→浜田市とウラジオストク市の双方市内に窓口を開き、日本企業を支援

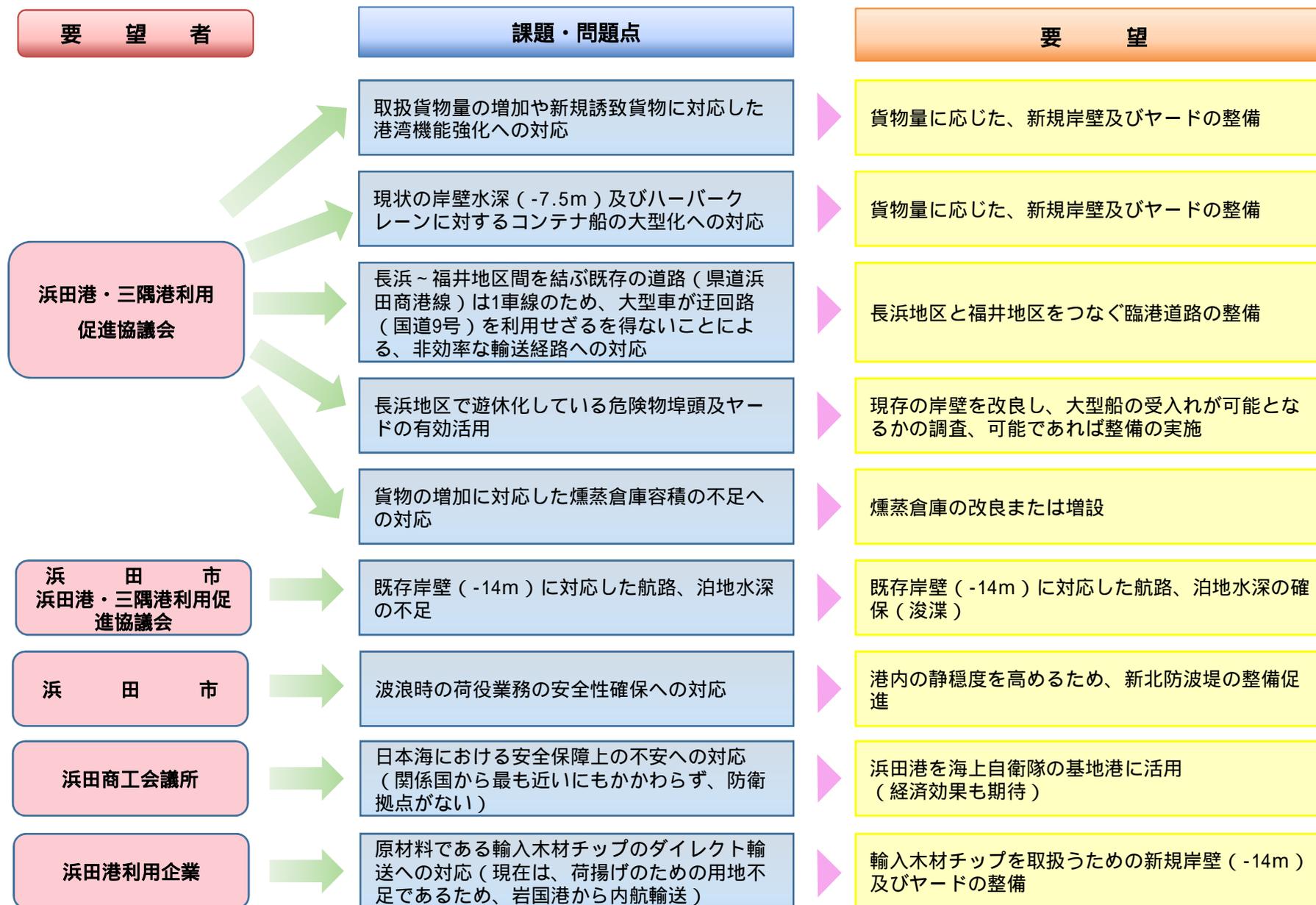
中央ロシア・シベリア市場の開拓支援
→ロシア市場開拓のため、国際見本市への出展、現地での商談会開催

内 容

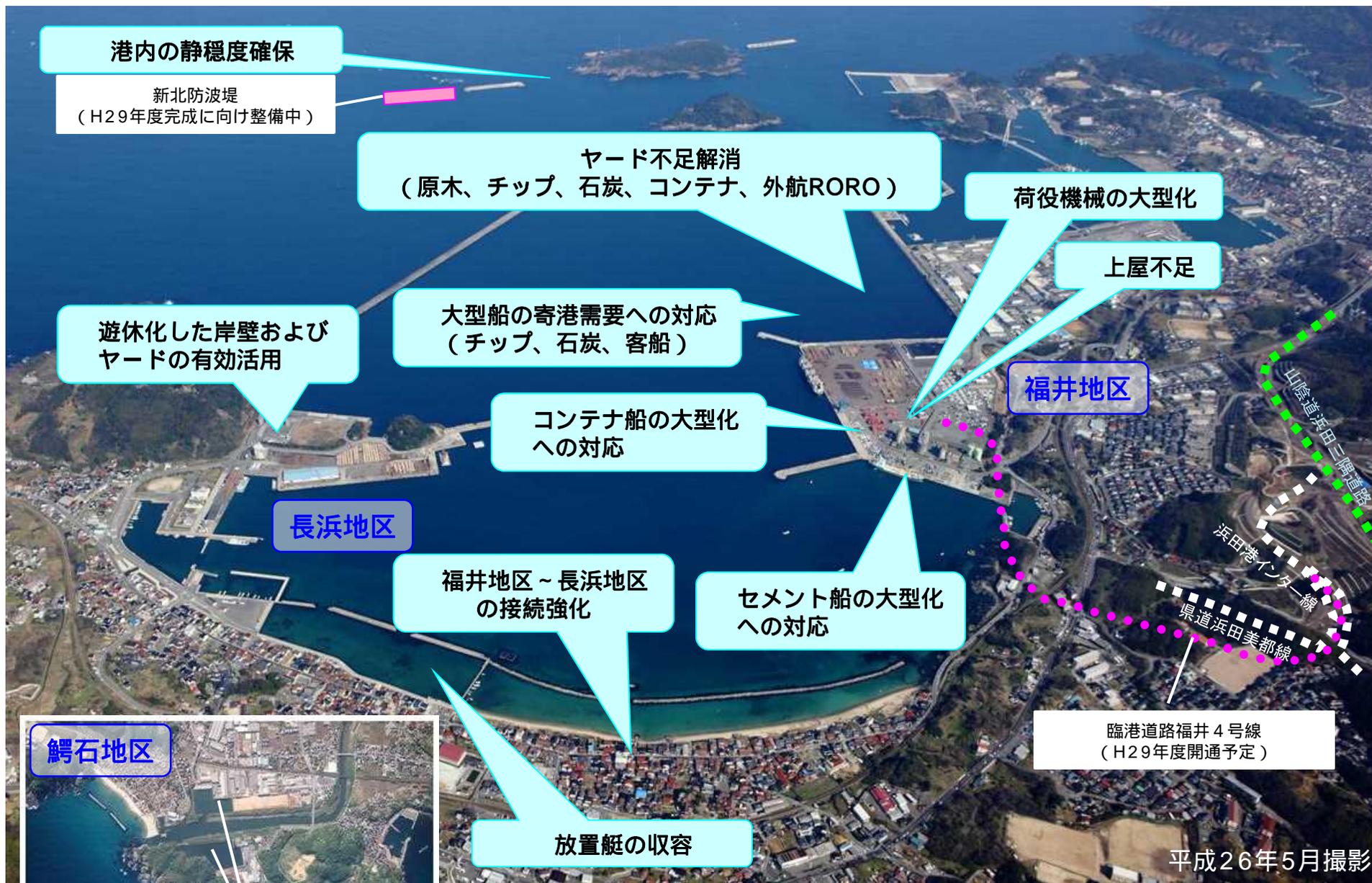
団体名	業種
島根県 浜田市	行政
公益財団法人しまね産業振興財団 JETRO松江貿易情報センター 山陰合同銀行 日本海信用金庫 浜田商工会議所 島根県商工会連合会 浜田港振興会	行政・経済関連団体及び金融機関
浜田港運(株) (株)エル・アイ・ビー	国際物流業者

出典：浜田港振興会HP

第5章 港湾利用者のニーズ



第6章 港湾の課題



港湾関連用地6.4 ha (H30年度完成に向け整備中)